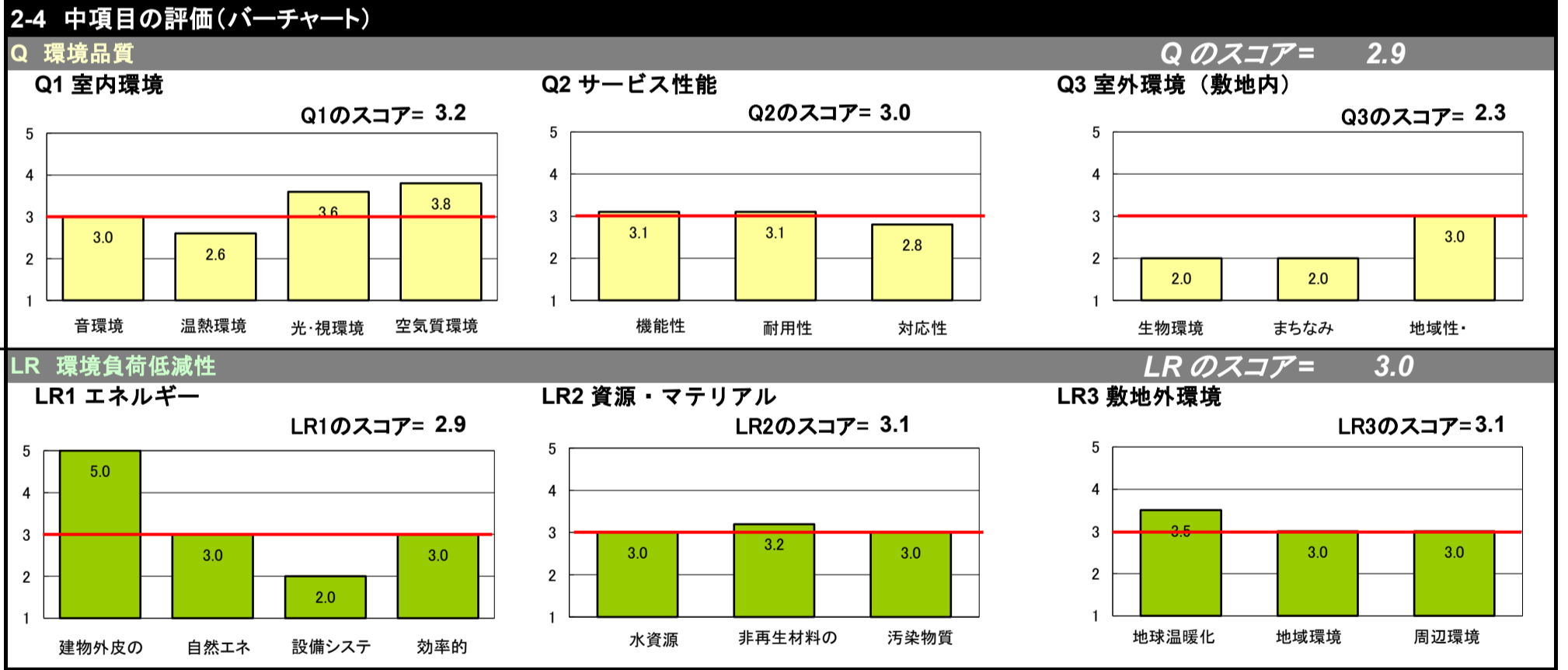
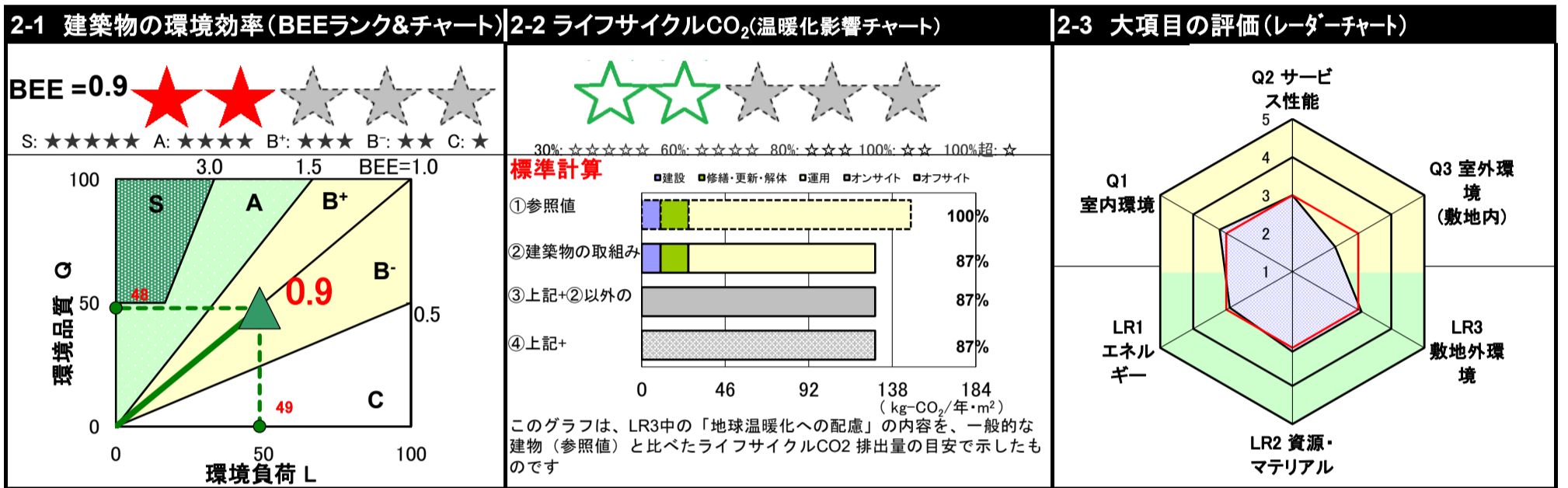


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大和市中心林間西新築工事	階数	地上5F
建設地	大和市中心林間西2丁目4244番2、4245番1、4244番33の一部	構造	S造
用途地域	第一種低層住居専用地域、第一種住居地域 準防火地域	平均居住人員	120 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年2月 予定	評価の実施日	2025年7月28日
敷地面積	2,126 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社 南関東流通一級建築士事務所
建築面積	978 m ²	確認日	2025年7月28日
延床面積	3,426 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社 南関東流通一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合	環境に配慮した資源を使い、安全で快適に過ごせる建物を作ろうとしている	
その他	特になし	
Q1 室内環境	居室面積に対して十分な大きさの窓を設置し、積極的な昼光利用がされている。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	建築物に対して十分な耐用年数を持つ空調・給排水配管がなされている。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	特になし	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	設備システムの効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げ材が容易に分別可能。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO ₂ 排出率=87%	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される